

# 値上げ止まらない春

## 4月から食品5千品目予定

物価高が止まらない。新年度が始まる4月も食料品や宅配運賃など生活に欠かせないモノやサービスの値上げが相次ぐ。一方、年金は物価高に追いつかず、制度なども変更される。

**4月からの暮らし こう変わる**

**買い物・サービス**

45円

54円 **値上げ**  
北海道バター

11円 **値上げ**  
森永乳業「森永アロエヨーグルト」(118g)

11~23% **値上げ**  
マルハニチロ「サバの缶詰」26品目(参考価格)

キユーピー「マヨネーズ」(450g)(参考価格)

**宅配運賃値上げ**  
ヤマト運輸、佐川急便。平均8~10%値上げ

### 働く

**デジタル給与払い解禁**  
賞金の支払い手段として、スマートフォンの決済アプリも利用可能に

**中小も大企業並み割増賃金率に**  
月60時間超の残業の割増賃金率、中小企業も25%から大企業同様50%に

### 子育て

**男性育児、公表義務に**  
従業員1千人超の大企業は、男性の育児休業の取得状況を公表義務化

**出産育児一時金が増額**  
出産時に子ども1人につき原則42万円支給される一時金を50万円に増額

### 医療・年金

**公的年金の支給額引き上げ**  
67歳以下の人は22年度より2.2%、68歳以上の人は1.9%増える

**HPVワクチン(9価)が定期接種に**  
9種類のヒトパピローマウイルス(HPV)に対応するワクチン。原則無料

### 学校・交通

**学校でマスク着用求めず**  
学校の活動で児童や生徒、教職員はマスク着用を求められないことが基本に

**自転車ヘルメット着用、努力義務に**  
改正道路交通法の施行に伴う。罰則なし

食品値上げの波はとどまるところか、勢いを増している。帝国データバンクによると、4月に予定されるのは6106品目で、前年同月の4倍超にのぼる。目立つのが生乳や卵など特定の原料価格の上昇を反映した値上げ。明治と森永乳業、雪印メグミルクはバターやヨーグルト、チーズなどの価格をそろって引き上げる。希羅小売価格では、明治は「北海道バター」を54円高に497円、森永乳業は「森永アロエヨーグルト」(118g)を11円高に159円、雪印メグミルクは「6Pチーズ」を68円高に472円にする。

鶏インフルエンザの流行で鶏卵も高騰。キユーピーと味の素は原料に卵を含むマヨネーズを値上げする。卵費3.6個分を使うキユーピーの「マヨネーズ」(460g)の参考価格は45円上り7600円に、2021~22年にすると3回

引き上げ、今回で2年前の1.4倍近い水準になる。帝国データバンクの試算では、4月以降の食品値上げにより、23年度の家計負担は前年度より年2万6千円増えるという。

食品以外でも値上げが相次ぐ。燃料価格や人件費の上昇で、宅配運賃も上昇。ヤマト運輸は4月3日から平均約10%、佐川急便は平均8%の値上げをする。

物価高を受け、4月から公的年金の支給額は3年ぶりに増える。ただ、将来の年金水準を確保するための抑制措置もとられるため、増額は約2%にとどまる。

このため物価上昇に追いつかず、実質的な価値は目減り。国民年金を満額支給する人の場合、67歳以下では22年度より月1434円多い6万6950円に、68歳以上では月1234円多い6万6050円になる。

少子化が深刻となる子育て分野では対策の一部が始

まる。妊婦の経済的な負担を軽減するため、出産育児一時金は原則42万円から50万円に増額する。

働き方についても、男性の育児を推進するため、従業者が1千人を超す大企業で、男性の育児休業の取得

状況を公表するように義務づけられる。

企業が賞金の一部をキャッシュレス決済口座などに振り込む「デジタル給与払い」も4月に解禁される。

1口座あたりの残高の上限は100万円。労働者にと

っては、受け取った賞金を、よく使うキャッシュレス決済の口座に改めてチャージする手間が省ける。ただ、損失を被るリスクも懸念される。

(山下裕志、松本真弥、石山英明、村井華心)